

## Bコース（家庭分野）の製作の様子

8月5日（木）＜1日目＞

初めに、ランチバッグのサイズを自分のお弁当箱のサイズに合わせて決めました。次に、リバーシブルの布を生かして無地とストライプをどのように配置するか決めました。その後、しるし付けと裁断を布の表裏を意識して行いました。しるし付けでは、ルレットの使い方に戸惑う場面が見られましたが、持ち方や力の入れ方の指導を講師から受けると、だんだん慣れていき、きれいにしるしを付けることができました。縫製については持ち手と本体用タブ、ファスナー用タブを作るところから始めました。



午後からはファスナーの始末とファスナーを付ける作業を行いました。ファスナーを見返しに付けるときには、ファスナーつけ止まりの位置をしっかりと確認しながらまち針を打って縫製しました。見返しと保冷シートを縫い合わせる時は、保冷シートがすべりやすいので、まち針を打つ間隔やミシンの速度を調節しながら丁寧に縫い進め、1日目の作業を終えました。



8月9日（金）＜2日目＞

本体と見返しの縫い合わせから始まりました。その後、本体と保冷シートの脇の縫い合わせをしました。保冷シートが破れやすいため、ミシンの縫い目を大きくして慎重に縫製を行いました。ミシン縫いの作業に慣れたこともあり、全員が余裕をもって製作を終えることができました。

ランチバッグが完成すると、余った布を使ってリボンやブックカバーを作ることができました。また、完成した作品を並べると、同じ生地を使用していても出来上がりはすべて違い、それぞれが「自分らしいランチバック」を製作でき、満足そうな様子を見ることができました。

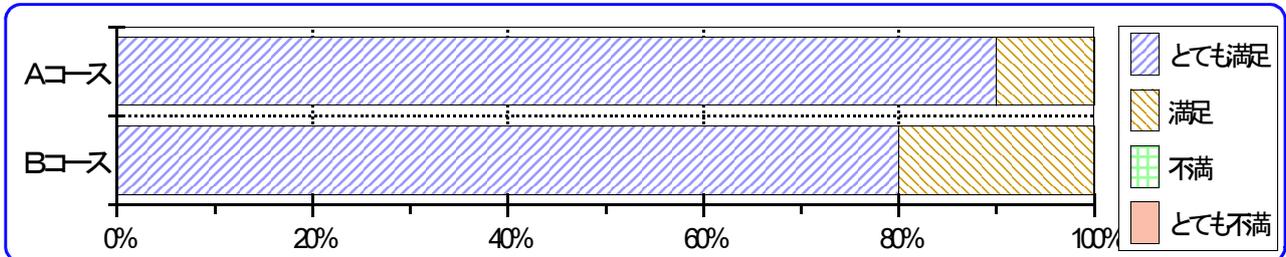


# アンケート集計結果

参加者と保護者の方々にアンケートをお願いしました。主な集計結果は、以下のとおりです。

## 参加者のアンケート結果

### Q1 今回の「ものづくり教室」で、学んだり、身に付けたりしたことに對して満足できましたか？



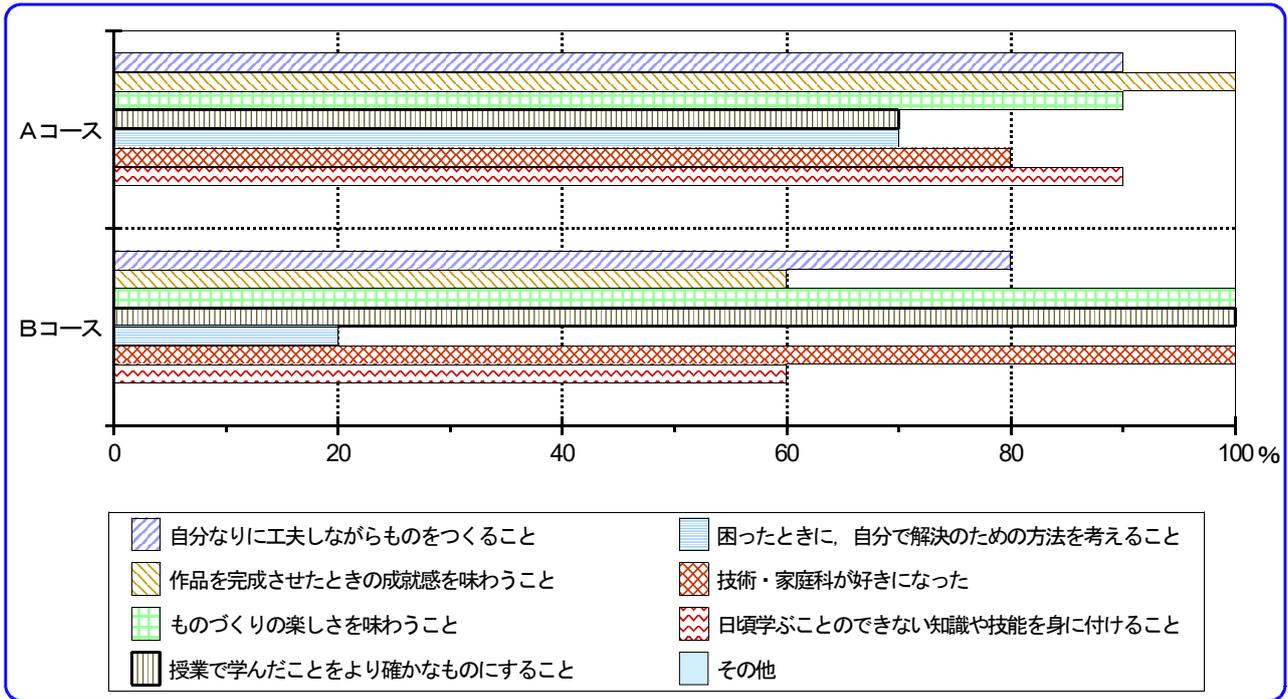
#### < Aコースの主な理由 >

- 講師の先生が一つひとつ教えてくれて、分かりやすかったから。
- 普段では知ることのできない技術を身に付けることができたから。また、材料から作品にするという達成感を得ることができたから。
- やりやすさなど、やりながら考えてやった方がいいとか色々学べたから。
- すごく作業工程も面白くて、色々な物を作る時に必要な技術を2日間で多く学べてよかったから。
- 楽しかったから。
- 今まで見たことはあっても、名前や使い方を知らない道具の名前やコツを知ることができたから。
- 釘打ちがとても難しくて何度も失敗してしまったけど、講師の先生が何回も教えてくれ、僕の意見を尊重して組み立てもしてくれ、楽しく作業ができ、学ぶことも多かったから。
- ものを作る途中などで、やり方を教えてもらったので、これからものを作る時にそのコツを活用していきたいと思ったから。
- 自分が知らなかったことや技術を知ることができたから。
- 不器用だった自分が講師の先生の助けにより、無事作品を完成することができ、確実に自分でもものづくりの力が上がったと思い、ものを作ることが好きになったから。

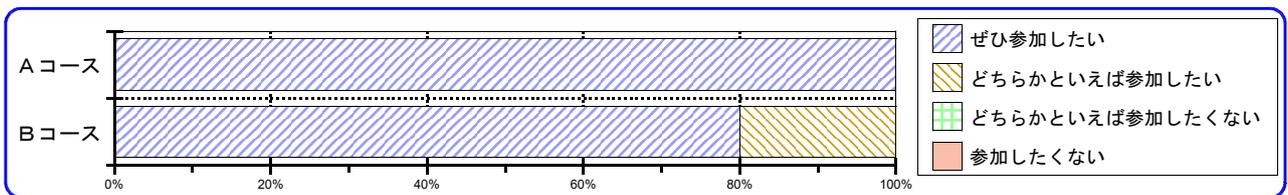
#### < Bコースの主な理由 >

- 自分なりに作りたいものを作ることができたから。
- 作ることがすごく楽しかった。想像していたものよりも良い感じだったから。
- 自分ではまあいいかで済ませ、よく分からないけど何かできた。としてきたが、意味や分からないところを近くで教えていただき、ここはこういうことか、こうなっているのかなど自分の力となった気がするから。
- 自分一人では作れないものを作れたから。
- 学校では作れないようなしっかりとした作品が作れたから。

**Q 2 今回の「ものづくり教室」で、できたことをすべて選びましょう。**



**Q 3 来年度の「ものづくり教室」への参加は どうしますか？**



< Aコースで「つくってみたいもの」 > (複数回答)

新井式廻轉抽籤器、アウトドアハイテーブル、アウトドアで使う棚、カート、チェア、スツール  
スパイスラック、傘立て、ラジオ、引き出し付きの棚、収納棚 (2)、キャスター付きワゴン、本棚

< Bコースで「つくってみたいもの」 > (複数回答)

トートバック、鞆、手さげ、ペンケース (2)、人形、キャラクター

**Q 4 今回の「ものづくり教室」で、学んだことや印象に残ったことなどを感想にまとめましょう。**

**< Aコース >**

○ 学校の授業の復習になったのと、隠し釘という工法の存在を学んだ。釘の上の部分がとれるなんて。隠し釘を考えた人はすごいと思った。さすがmade in Japan !だと思った。作品の隅の方の色を塗るのが難しかったが、講師の先生方は、やっぱりすごいなと実感したことが印象に残った。

○ まだ授業で実際に使っていない道具が使えて楽しかったです。また、言われていたよりも早くできたので驚きました。腕がつかなくても、できあがると達成感がありました。

○ 初めに印象に残ったことは、生徒より講師の先生の方が多く印象に残りました。すごく先生の説明が分かりやすくしっかりとサポートもしていただき、すごくいいと思いました。今後の役に立つようなことがすごく分かり、自分も家でもっと色々な物を作りたいと思いました。今後もまた参加したいです。

○ いやになったりしたけれど、完成したときの達成感が印象に残った。

○ 初めのけがきをしたところで、丸を開け間違えたけどギリギリもう一つ穴を開けることができよかったです。ベルトサンダーの使い方や丸い穴を開ける機械の使い方が先に動かしてから使い始めるところが少し似ていると思いました。

○ やすりは、まず45度くらいにあてて、角を落としていくと速いしムラが出ない、げんのうは長く持ち重さで打つと速い。刷毛で色を塗る時は、真ん中から外へ塗ると液だれしない。ドリルで穴を開ける時は、木を押さえるなど学ぶことができた。

○ 少し誤差ができてしまったり、釘がゆがんだり、折れたりしてしまったり、した時に先生方が笑顔でリカバリーしてくださったことや、最初緊張していたときに、色々なことを聞いたり、話したりしてくださったことなど、多くの先生方のあたたかい対応で、とても楽しい学習活動になりました。他にも、ちょっとした技術の豆知識やプチ実験を通して技術に対する関心も高まりました。それから、個人的にはそんなにうまくできなかった時でも「うまいよ！」などの声を掛けていただいたのもうれしかったです。このご時世の中、ものづくり教室を開いていただいたことに感謝です。いい夏の思い出ができてよかったです。

○ やすりのかけ方やけがきのコツ、釘の打ち方のコツなどを学びました。やり方のコツを丁寧に教えてもらって、だんだん上手になっていきました。これまでよりもいい作品を作りたいです。また、技術の授業がある時は、2日間で教えてもらったコツを生かしたいです。

○ 今回の教室に参加し、本格的に木材を加工し、今まで作ったことのない大きなボックスを作ることができました。一時は自分が何度も釘打ちをミスしてしまい、講師の先生には迷惑を掛けましたが、気にせず手伝ってくれたのでありがたかったです。また、講師の先生が雑談をしてくれたので、緊張せずに作れました。この経験を生かし、今後の学校での授業やものづくりの機会があれば存分に発揮したいです。来年の「ものづくり教室」にも参加したいです。

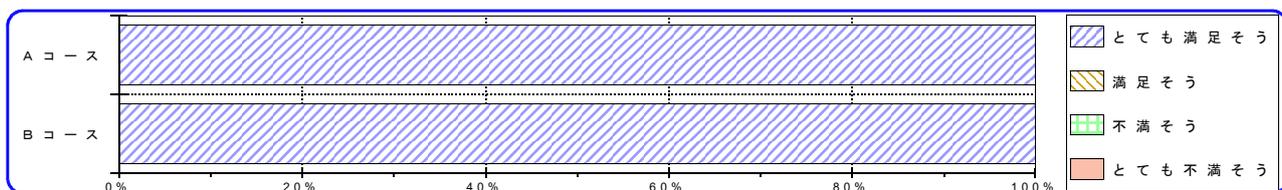
○ 今回のものづくり教室を終えて、多くのことを学びました。例えば、木殺しという木の性質を利用した技術であったり、隙間ができてしまった部分をかんなどで削って出た部分で隙間を埋めたりという普段では学ぶことのできない技術を学ぶことができました。僕はただ中学で習った技術を使って作るだけだと思っていましたが、実際には全く違うと感じました。見たことのない道具を使ったり、やったことのない技術を使ったりしたからです。初めは、自分は本当に完成させることができるのか、時間内に終わるのだろうかと思った時もありましたが、先生が分かりやすく説明してくださったおかげで、順調に作業を進めることができました。今回学んだことを生かして今後も作品を作っていきたいです。

## < Bコース >

- 家庭科の授業に似ていたけど、授業の時よりも分からないことなど沢山聞くことができた。
- ミシンの使い方があやふやだったけど、今回でミシンの使い方がしっかり分かったのでよかった。最初の方は、サイズ間違いとかしたけど、講師の先生が優しく教えてくれたので、とってもいい作品になった。色とかサイズとかも思い通りのものを作れたのでよかった。
- 初めてこんなに本格的にもものづくりをして、ゆっくり丁寧にしっかり作れば、とてもいい作品ができるんだなと思いました。これまでも作品は作ることはあったけれど、今回の作品は、今まで学校とかで習ってきたことを全て使って作ったもので、すごく楽しかった。
- ランチバックだけでなく、他のものを作ることもできて楽しかった。講師の先生の教え方も分かりやすくてよかった。
- 昼休憩や朝始まる前の少しの時間などで、普段は関わることのない他の学校の子や、先生と交流できてわくわくした。布の綺麗な処理の仕方だったり、ちょっとしたコツなどを教えていただいて、知識が付き、もっと家庭科が好きになった。同じ布、部品から作ったのに、それぞれの工夫によって、形も柄もみんな違ったデザインになっていて、他の人のものも見て「あ、あんなデザインにもなるのか！」と気づきもあってよかった。

### 保護者のアンケート結果

#### Q 1 参加されたお子様は、帰宅後、どのような様子でしたか。



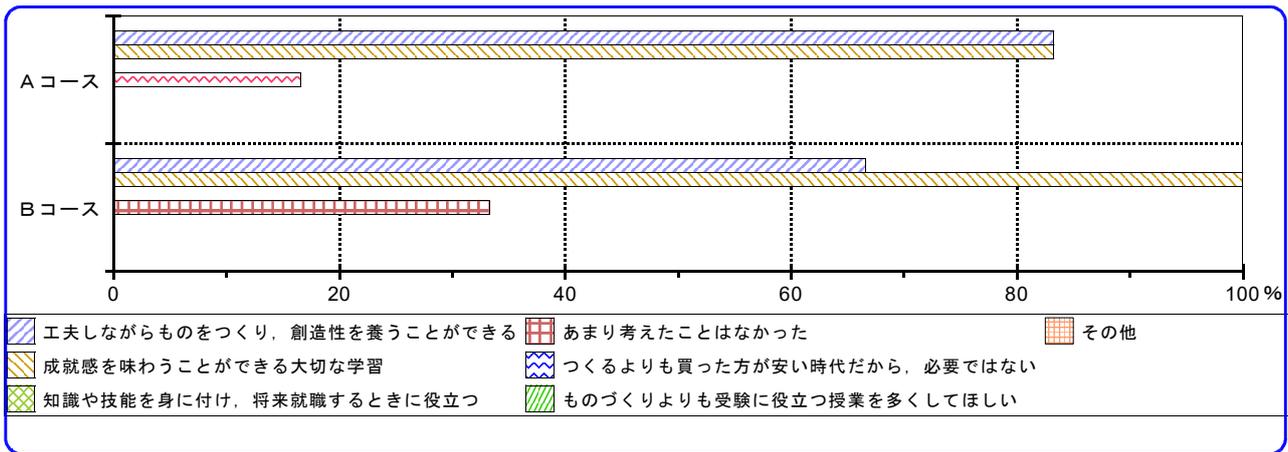
#### < 帰宅後の具体的な様子 (Aコース) >

- 達成感に満ちあふれた表情をしていた。帰宅後すぐに、作品について工夫した所（面取りや隠し釘）の説明をしてくれました。
- 作ってきた作品を広げ、見てみると嬉しそうにしていました。置き場所を考え、使用していました。
- 作ってきた作品を詳しく説明しながら得意げに見せてくれました。
- 帰宅後すぐに作品を見せてくれ、どのような工夫をしたかや、どのような工程だったのかを説明してくれました。
- 1日目も2日目も、生き生きとしていました。すぐに組み立てて、使用していました。
- 作品がとても気に入ったようで作った工程など説明しながら見せてくれました。

#### < 帰宅後の具体的な様子 (Bコース) >

- とても笑顔で満足そうでした。
- 1日目は、参加しどんな感じだったか話してくれました。2日目は、できあがった作品を嬉しそうに見せてくれました。
- 完成した作品を嬉しそうに見せてくれました。

**Q2 お子様「ものづくり教室」に参加するまで、「ものづくり」についてどのようにお考えでしたか。**



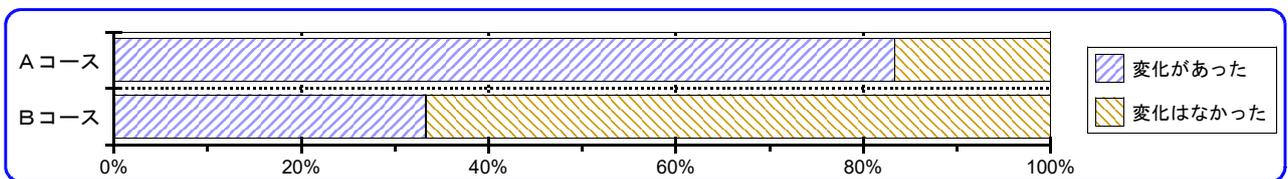
**<感想 (Aコース) >**

- 家ではなかなか作品ができないため、このような教室があることはありがたいです。
- 来年度も参加したいと言っていました。また、「ものづくり」をすることの楽しさを味わうことができました。

**<感想 (Bコース) >**

- お弁当袋は、100円でも購入できる時代ですが、自分の手で一から作り完成し、喜びと満足で成就感を味わっていました。

**Q3 お子様「ものづくり教室」に参加することによって、「ものづくり」についてのお考えに変化はありましたか。**



**<考えの変化 (Aコース) >**

- できあがった作品を長く使っていきたいと思えるよう、一つひとつの工程を大切に丁寧に行うことができるようになった。
- 元々学校で技術にさほど興味をもっていなかった方ですが、今回の教室に参加したことにより、作業工程に興味をもったようで、今後、学校の授業も楽しめるとういと感じました。
- ものを作るとは、もともと好きでしたが、「ものづくり」の楽しさをさらに感じ、もっともっと好きになったと話していました。
- 想像していた以上に「ものづくり」を楽しんでいました。作品への愛情をもち、また、使い手が気持ちよく使えるように考えて作ることで、人を思いやる優しい心も養われたと感じました。
- 1つの作品を完成させた時の満足感を味わうことができましたと思います。とても大きな作品なので。

**<考えの変化 (Bコース) >**

- 参加する前から、一から自分で作るっていいよね!!と言っていました。
- 最初は面倒と思っていましたが、初めてみるととても楽しく取り組みました。
- 父親のランチバックを作ってあげています。

**Q4 「ものづくり教室」や今後の技術・家庭科教育へのご意見・ご要望・ご感想等、お気付きのことをお知らせください。**

**<Aコース参加者より>**

- 学校の授業ではなかなかできない作品だと思いました。今後も続けてほしいです。
- 「ものづくり教室」に参加させていただきありがとうございました。先生方のご指導のおかげで、子どもが立派な作品を作り上げ、持ち帰ってくることができました。
- 木を切ったり、釘を打ったりする経験はなかなかできなかったもので、とてもよい経験になりました。一人でも参加したいと自ら進んで希望し、申し込みさせていただいたので、よい機会をあたえていただきありがとうございました。
- できあがった作品が意外と大きく置き場所をどうしようか…と考え中です。しかし、子どもは大きな作品を作った達成感があるようです。2日間お世話になり、ありがとうございました。
- 1対1で丁寧に教えていただき、ありがとうございました。
- とても楽しんで参加することができました。1つの作品を完成させたことにより、満足感・達成感ともに感じられたようで、このような機会をいただけてよかったです。作品の大きさが分からず持ち帰り方が少し不安でした。

**<Bコース参加者より>**

- なかなか親が教えることが難しい（得意・不得意があるため）ので、このような「ものづくり教室」は、今後もぜひ続けていってください。2日間ありがとうございました。
- せっかくの夏休みなのにコロナで遠出もできない中、友達と外出できた喜びや、普段から手芸が好きなこともあるが、自分で作ったお弁当袋の完成の喜びで、とても楽しかったと満足していました。ありがとうございました。



# 令和3年度 ものづくり教育推進事業 協賛社名 (敬称略・50音順)

協賛金は、材料費や保険代として、ものづくり教室の充実のために有効に活用させていただきました。

- 株式会社 魚国総本社  
〒458-0801  
緑区鳴海町杜若105  
TEL 895-8821
  
- 近畿日本ツーリスト株式会社 名古屋教育旅行支店  
〒450-0003  
中村区名駅南1-27-2 日本生命笹島ビル7階  
TEL 561-7871
  
- 株式会社 小西建装工業所  
〒465-0046  
名東区望が丘229-4  
TEL 771-0680
  
- 株式会社 三芸社  
〒488-0826  
尾張旭市大塚町3-6-7  
TEL 778-0265
  
- シオン株式会社  
〒457-0005  
南区桜台1-8-2  
TEL 811-6861
  
- システムサポート株式会社  
〒463-0011  
守山区小幡5-9-19  
TEL 792-9956
  
- 株式会社 新和技建  
〒462-0058  
北区西志賀町4-2-1  
TEL 913-7633
  
- 株式会社 スクールフォト  
〒467-0821  
瑞穂区上坂町1-27  
TEL 872-2300
  
- 株式会社 中部商会  
〒460-0017  
中区松原1-3-21  
TEL 321-7779
  
- 株式会社 東海図書館サービス  
〒452-0844  
西区上橋町113  
TEL 501-0263



令和3年度 「ものづくり教室」

発行 名古屋市技術・家庭科教育研究協議会  
「ものづくり教室」事務局

名古屋市立宮中学校 伊藤 弘幸

TEL 052-681-7531